

経済産業省こどもデー出展報告

小松原 純子¹・清水 徹²・持丸 華子²・竹田 幹郎²・兼子 尚知³・
中山 宏之⁴・橋本 優里⁵・長澤 真⁶

1. はじめに

2025年8月6日(水)～7日(木)の2日間にわたって東京都千代田区の経済産業省において「経済産業省こどもデー」が開催されました。このイベントは毎年霞が関の省庁で横断的に行われる「こども霞が関見学デー」の一環として、経済産業省が業務内容に関連した子ども向けの体験イベントを行うものです。産総研地質調査総合センターからは「星砂を観察しよう!」というタイトルで出展しました。その模様を報告します。

2. 出展内容

有孔虫を厚紙に両面テープで貼り付けてプレパラートを作成し、ルーペや実体顕微鏡で観察してもらい、プレパラートはお土産にお持ち帰りいただきます。この体験ブースはすでに2024年12月にイースつくばで行われた「出張産総研ミニミニ一般公開 SECOND」で実施されており(兼子ほか, 2025), 詳細はそちらをご参照ください。上記では虫

眼鏡による観察のみでしたが、今回は野外観察用の携帯型双眼実体顕微鏡((株)ニコン製ファール)を5台持ち込み、顕微鏡による観察も行いました。

観察していただくのは現世の沖縄県石垣島の海浜堆積物(いわゆる「星砂」)ですが、これが地層を形成して有孔虫が化石として見つかった場合に環境や年代の指標となり得るため、地質調査の手がかりとして使えることを説明しました。

3. イベントの様子

2日間とも10時の開場から16時の閉場までブースには常に順番待ちの列ができ、途切れることなく来場者が訪れました。プレパラートの配布数は2日間で884枚に及びました。特に初日は最初に持ち込んだ400枚のプレパラート台紙が昼過ぎの時点で底をついてしまい、後半は急遽プレパラートのお土産なしで星砂の観察のみとなりました。その旨ブース入り口に張り紙をしておいたにもかかわらず、顕微鏡で観たい子どもたちが途切れなく訪れ、有孔



写真1 ブースの様子。多くのご家族で賑わった。子どもたちだけでなく保護者の方も熱心に顕微鏡をのぞく姿が見られた。



写真2 ブース入り口(写真奥)でプレパラートを作成してもらい、その隣で虫眼鏡による観察、さらにその隣で実体顕微鏡による観察という3段階の流れになっている。

1 産総研 地質調査総合センター活断層・火山研究部門

2 産総研 地質調査総合センター連携推進室

3 産総研 地質調査総合センター地質情報基盤センター

4 産総研 エネルギー・環境領域再生可能エネルギー研究センター

5 産総研 研究戦略本部ネイチャーポジティブ技術実装研究センター

6 産総研 地質調査総合センター地圏資源環境研究部門

キーワード：経済産業省、こども霞が関見学デー、有孔虫、星砂、プレパラート、虫眼鏡、実体顕微鏡

虫やウニの棘などの生物殻碎屑物をじっくりと観察していました。保護者の方にもプレパラートの作成と観察をしていただきましたが、子どもよりもむしろ大人のほうが観察にのめり込んでしまう場面もありました(写真1, 2, 3)。

4. おわりに

本ブース出展の際には経済産業省イノベーション・環境局基準認証政策課広報室の伊藤有里子氏に大変お世話になりました。地質調査総合センター連携推進室の利光誠一氏・長江敦子氏、同地質情報基盤センター地質標本館室の朝川暢子氏・清水裕子氏・中村由美氏・瀬口寛樹氏・武井勇二郎氏にはプレパラート台紙の作成においてご協力いただきました。御礼申し上げます。

文 献

兼子尚知・利光誠一・武井勇二郎・瀬口寛樹・朝川暢子・清水裕子(2025) ミニミニ一般公開 SECOND「星砂を観察しよう！」開催報告. GSJ 地質ニュース, 14, 158-159.



写真3 「星砂を観察しよう！」のブースは常に行列ができるほどの人気であった。

KOMATSUBARA Junko, SHIMIZU Toru, MOCHIMARU Hanako, TAKEDA Mikio, KANEKO Naotomo, NAKAYAMA Hiroyuki, HASHIMOTO Yuri and NAGASAWA Makoto (2026) Report on participation in the METI Kids Day.

(受付：2025 年 8 月 22 日)